



写真左から清水町長、二宮さん、浅野さん、松蔭さん

6/28 自転車の交通ルール熟知 愛媛大会で優勝

松前町で開催された交通安全子供・高齢者自転車愛媛大会（高齢者の部）で個人優勝と団体準優勝に輝いた松蔭秀行さん、二宮節夫さん、浅野和義さんが町長室を訪れて成績報告を行いました。大会は、子どもや高齢者の自転車による事故防止を目的に毎年行われていて、今年も小学生や65歳以上の高齢者74人が参加しました。

平成22年に続いて2度目の個人優勝を果たした松蔭さんは「健康維持のために一生懸命取り組んできた。勉強した交通ルールは、普段から守ることを心掛けている。」と笑顔で話されました。



7/2 親子で笹の飾り付け

城の辺学習館で「城の辺笹まつり」が開催され、参加者とボランティア合わせて約220名が笹飾りづくりやステージイベントを楽しみました。親子で参加した稲垣あゆみちゃん（6歳）は短冊に願いを込めて「えかきさんになれますように」と書きました。

笹まつりには、毎年たくさんの方がボランティアスタッフとして参加しています。今年は特に小中学生や高校生が数日前から準備を手伝い、当日も進行を担当したり、彦星や織姫に扮してイベントを盛り上げるなど大活躍しました。



あんなことや、
こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.69

「チュ♡!」



クダゴンベ

今の若い人に言うと笑われるが、昔、我が家では、ストローが高級品だった。家にあるストローは、お客様用で、使うには母親の許しが必要だった。夏の暑い日に、こっそりとストローで飲むジュースの味は、格別なものだった。

クダゴンベの口を見ると、いつもこのことを思い出す。クダゴンベを漢字で書くと、管権兵衛となる。管のような口をした権兵衛さんという意味である。また、美しい格子模様も大きな特徴である。たてじまやよこじまの魚は多いが、両方のしまが合わさって、格子になっている魚は珍しい。

私にはストローのように見える口だが、投げキスをしているようだと
言った女性がいた。センスのある見方のできる人だと感心しながらも、この人がクダゴンベを見たときには、どんなことを思い出しているのかなあと、よこしまなことを考えてしまった。

(撮影地：鹿島)

愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる

7/17 打ち上げ花火が復活！ 県境夏まつり「一本松」

一本松プール駐車場周辺で、県境夏まつり「一本松」(同実行委員会主催)が開催され、会場は多くの人出でにぎわいました。今年は打ち上げ花火が6年ぶりに復活し、約700発の花火が夏の夜空を彩りました。また、ステージでは地元の園児や小・中学生らによる歌や踊りなどが披露されました。徳田斗磨くん(小2 増田)は「連続で花火が上がってすごかった。また見たい」と大満足の様子でした。

同日は、出雲大社(一本松)で「輪抜け祭り」も開催され、参拝者が茅の束でできた輪をくぐり無病息災を願いました。



7/4 園児が笹の飾りを プレゼント

城辺保育所の園児28名が七夕に合わせて飾り付けを行った笹を愛南町役場に贈呈しました。これは幼児期から交通安全の大切さを理解してもらおうと城辺駐在所連絡協議会が支援して実施したもので、笹飾りには「自転車に乗れるようになりますように」など園児の願いを込めた短冊が吊り下げられていました。

7/12 「宝くじ助成事業」で やぐらステージ等を整備しました

(財)自治総合センターの「平成28年度コミュニティ助成事業」の補助を受け、福浦地区自治会(西海)の盆踊りで使用するやぐらステージとやぐら収納用倉庫が新調されました。

この事業は、『宝くじの普及広報事業』として自治総合センターが受け入れた宝くじ収益金を財源として、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることをめざすもので、コミュニティ活動に直接必要な施設又は設備の整備を行っています。

